

ダイワ米国厳選株ファンド
ーイーグルアイー
A コース（為替ヘッジあり）
B コース（為替ヘッジなし）

運用報告書（全体版）
第28期

（決算日 2026年 5 月28日）
（作成対象期間 2025年11月29日～2026年 5 月28日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	無期限（設定日：2012年5月30日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国厳選株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

Aコース（為替ヘッジあり）

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		株式組入 比 率	株式先物 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
24期末（2024年 5 月28日）	12, 890	700	8. 6	46, 736	17. 2	94. 6	—	656
25期末（2024年11月28日）	13, 963	950	15. 7	53, 102	13. 6	91. 2	—	683
26期末（2025年 5 月28日）	12, 910	0	△ 7. 5	52, 663	△ 0. 8	91. 7	—	558
27期末（2025年11月28日）	13, 704	30	6. 4	60, 852	15. 5	97. 8	—	558
28期末（2026年 5 月28日）	13, 612	0	△ 0. 7	67, 453	10. 8	96. 5	—	541

- （注 1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注 2）S & P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
（注 3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注 4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注 5）株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注 6）株式先物比率は買建比率－売建比率です。

S & P 500指数（「当インデックス」）はS & P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S & P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはS P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：13,704円

期末：13,612円（分配金0円）

騰落率：△0.7%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことはプラスに寄与しましたが、為替ヘッジコストなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド
 –イーグルアイ–
 Aコース
 （為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
(期 首) 2025年11月28日	円	%		%	%	%
	13,704	—	60,852	—	97.8	—
12月末	14,500	5.8	61,731	1.4	96.2	—
2026年1月末	14,310	4.4	62,333	2.4	94.7	—
2月末	13,808	0.8	61,840	1.6	96.2	—
3月末	12,935	△ 5.6	56,830	△ 6.6	97.0	—
4月末	13,677	△ 0.2	63,957	5.1	97.6	—
(期 末) 2026年5月28日	13,612	△ 0.7	67,453	10.8	96.5	—

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2025. 11. 29 ～ 2026. 5. 28）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利下げの決定や経済指標の改善などが好感された一方で、「A I（人工知能）脅威論」による情報サービス・ソフトウェア関連株の下落やプライベート・クレジット市場への懸念などから、2026年2月にかけておおむね横ばいで推移しました。3月には米国とイスラエルがイランへの軍事作戦を開始し、イランによってホルムズ海峡が事実上封鎖されたことなどから先行きへの懸念が強まり大幅に下落しましたが、4月以降は米国とイランの和平交渉進展への期待やA I・半導体関連株の集中物色を受けて急反発し、当作成期末にかけて上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2025. 11. 29 ~ 2026. 5. 28)

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

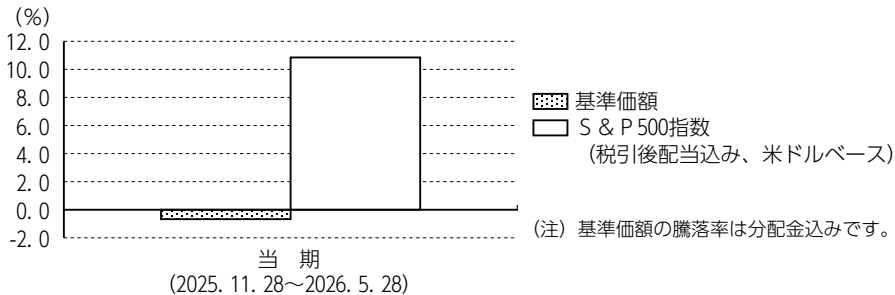
当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2025年11月29日 ～2026年 5月28日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,893

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 11. 29～2026. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	130円	0. 944%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13, 800円です。
(投 信 会 社)	(74)	(0. 535)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(53)	(0. 382)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0. 027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0. 013	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0. 013)	
有価証券取引税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	2	0. 012	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	134	0. 969	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

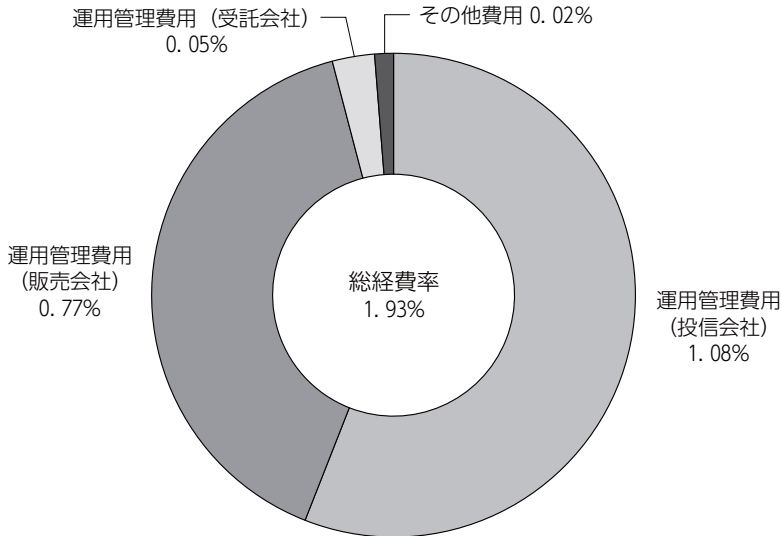
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年11月29日から2026年 5月28日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	26	300	3,638	41,130

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年11月29日から2026年 5月28日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	4,313,068千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,243,372千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.69

(注1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	51,580	47,968	543,228

(注) 単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年 5月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	543,228	98.9
コール・ローン等、その他	5,905	1.1
投資信託財産総額	549,134	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝159.66円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(5,736,873千円)の投資信託財産総額(5,780,203千円)に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年 5月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,075,770,357円
コール・ローン等	5,905,498
ダイワ米国厳選株 マザーファンド (評価額)	543,228,731
未収入金	526,636,128
(B) 負債	533,877,089
未払金	528,601,104
未払信託報酬	5,260,859
その他未払費用	15,126
(C) 純資産総額 (A - B)	541,893,268
元本	398,109,728
次期繰越損益金	143,783,540
(D) 受益権総口数	398,109,728口
1万口当り基準価額 (C / D)	13,612円

* 期首における元本額は407,841,820円、当作成期間中における追加設定元本額は446,267円、同解約元本額は10,178,359円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,612円です。

■
 損益の状況

当期
 自2025年11月29日
 至2026年
 5月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	15,875円
受取利息	15,875
(B) 有価証券売買損益	1,620,302
売買益	27,172,959
売買損	△ 25,552,657
(C) 信託報酬等	△ 5,302,155
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 3,665,978
(E) 前期繰越損益金	92,766,979
(F) 追加信託差損益金	54,682,539
(配当等相当額)	(48,855,774)
(売買損益相当額)	(5,826,765)
(G) 合計 (D + E + F)	143,783,540
次期繰越損益金 (G)	143,783,540
追加信託差損益金	54,682,539
(配当等相当額)	(48,855,774)
(売買損益相当額)	(5,826,765)
分配準備積立金	103,994,680
繰越損益金	△ 14,893,679

- (注1)
 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2)
 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3)
 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4)
 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：1,610,768円（未監査）

■
 収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	51,016,561
(d) 分配準備積立金	103,994,680
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	155,011,241
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	155,011,241
(h) 受益権総口数	398,109,728口

Bコース（為替ヘッジなし）

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株式組入 比 率	株式先物 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
24期末（2024年 5 月28日）	18, 158	2, 000	18. 4	92, 248	24. 1	96. 4	—	3, 977
25期末（2024年11月28日）	19, 117	1, 700	14. 6	101, 363	9. 9	92. 8	—	5, 442
26期末（2025年 5 月28日）	17, 112	0	△ 10. 5	95, 418	△ 5. 9	94. 7	—	4, 653
27期末（2025年11月28日）	20, 003	150	17. 8	119, 874	25. 6	97. 0	—	5, 188
28期末（2026年 5 月28日）	20, 458	100	2. 8	135, 450	13. 0	96. 2	—	4, 520

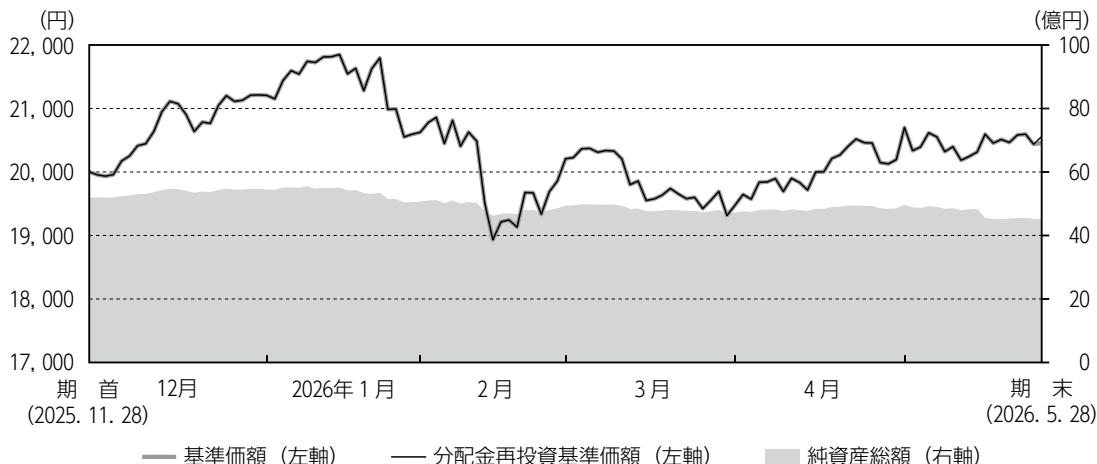
- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) S & P 500指数（税引後配当込み、円換算）は、S & P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10, 000 として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

S & P 500指数（「ダウインデックス」）は S & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S & P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：20,003円

期末：20,458円（分配金100円）

騰落率：2.8%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことに加え、為替相場で米ドルが対円で上昇（円安）したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド –イーグルアイ– Bコース（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
(期 首) 2025年11月28日	円	%		%	%	%
	20,003	—	119,874	—	97.0	—
12月末	21,207	6.0	121,552	1.4	95.2	—
2026年1月末	20,624	3.1	120,464	0.5	96.2	—
2月末	20,207	1.0	121,184	1.1	96.1	—
3月末	19,474	△ 2.6	114,274	△ 4.7	96.0	—
4月末	20,700	3.5	129,016	7.6	96.5	—
(期 末) 2026年5月28日	20,558	2.8	135,450	13.0	96.2	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2025. 11. 29 ～ 2026. 5. 28）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利下げの決定や経済指標の改善などが好感された一方で、「A I（人工知能）脅威論」による情報サービス・ソフトウェア関連株の下落やプライベート・クレジット市場への懸念などから、2026年2月にかけておおむね横ばいで推移しました。3月には米国とイスラエルがイランへの軍事作戦を開始し、イランによってホルムズ海峡が事実上封鎖されたことなどから先行きへの懸念が強まり大幅に下落しましたが、4月以降は米国とイランの和平交渉進展への期待やA I・半導体関連株の集中物色を受けて急反発し、当作成期末にかけて上昇しました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より方向感に欠ける動きとなりました。2026年1月に入ると、日本の衆議院解散をめぐる思惑から円安となる場面もありましたが、同月下旬には、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受けて、円高が進行しました。2月中旬から3月中旬にかけては、発表された米経済指標を受けて、米国における年内の利下げ実施見通しが後退したことや、中東情勢の緊迫化で投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、米ドル高が進行しました。4月末にかけてはおおむね横ばいで推移しました。5月上旬には、日本が円買いの為替介入を実施したことで、円高が進行しました。5月中旬にはホルムズ海峡の封鎖長期化への懸念による原油高が円安米ドル高要因となったほか、当作成期末にかけては、米国とイランの戦闘終結期待による市場心理の改善などを背景に、円安となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固

であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

（2025. 11. 29 ～ 2026. 5. 28）

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

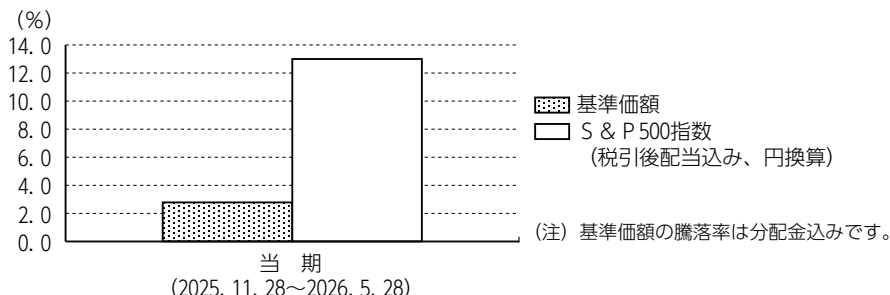
当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2025年11月29日 ～2026年 5月28日	
当期分配金（税込み）	(円)	100
対基準価額比率	(%)	0.49
当期の収益	(円)	100
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	10,457

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	67.03円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	470.40
(c) 収益調整金		6,672.56
(d) 分配準備積立金		3,347.63
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）		10,557.64
(f) 分配金		100.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）		10,457.64

- (注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

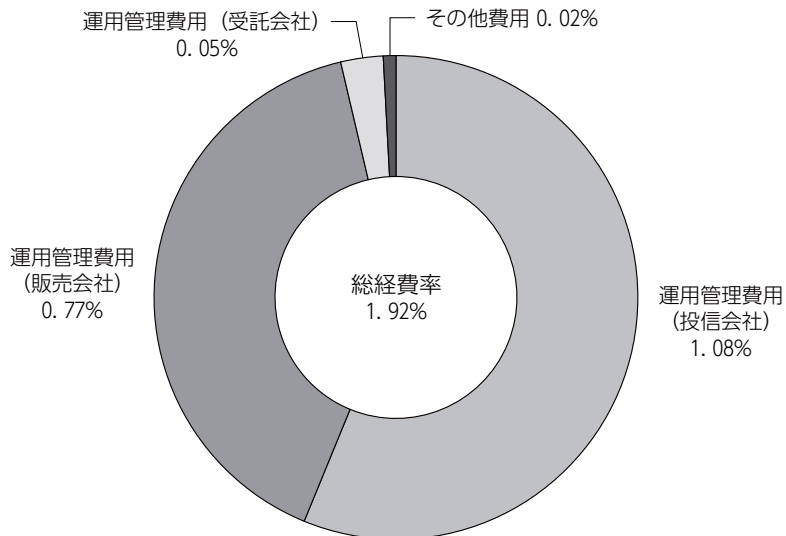
項 目	当 期 (2025. 11. 29～2026. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	192円	0. 944%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は20, 397円です。
(投 信 会 社)	(109)	(0. 535)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(78)	(0. 382)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0. 027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	3	0. 012	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0. 012)	
有価証券取引税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	2	0. 008	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	197	0. 964	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



（注1）1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイー Bコース（為替ヘッジなし）

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年11月29日から2026年 5月28日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	7,664	85,000	83,711	947,600

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年11月29日から2026年 5月28日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	4,313,068千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,243,372千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.69

(注 1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	474,832	398,785	4,516,168

(注) 単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年 5月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	4,516,168	98.3
コール・ローン等、その他	77,581	1.7
投資信託財産総額	4,593,750	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝159.66円です。

(注 3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(5,736,873千円)の投資信託財産総額(5,780,203千円)に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年 5月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,593,750,428円
コール・ローン等	52,381,997
ダイワ米国厳選株 マザーファンド (評価額)	4,516,168,431
未収入金	25,200,000
(B) 負債	73,071,547
未払収益分配金	22,097,747
未払解約金	3,405,907
未払信託報酬	47,430,904
その他未払費用	136,989
(C) 純資産総額 (A - B)	4,520,678,881
元本	2,209,774,760
次期繰越損益金	2,310,904,121
(D) 受益権総口数	2,209,774,760口
1万口当り基準価額 (C / D)	20,458円

* 期首における元本額は2,593,671,717円、当作成期間中における追加設定元本額は120,102,222円、同解約元本額は503,999,179円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は20,458円です。

■損益の状況

当期 自2025年11月29日 至2026年 5月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	93,515円
受取利息	93,515
(B) 有価証券売買損益	166,237,964
売買益	199,554,382
売買損	△ 33,316,418
(C) 信託報酬等	△ 47,567,893
(D) 当期損益金 (A + B + C)	118,763,586
(E) 前期繰越損益金	739,752,104
(F) 追加信託差損益金	1,474,486,178
(配当等相当額)	(1,220,691,167)
(売買損益相当額)	(253,795,011)
(G) 合計 (D + E + F)	2,333,001,868
(H) 収益分配金	△ 22,097,747
次期繰越損益金 (G + H)	2,310,904,121
追加信託差損益金	1,474,486,178
(配当等相当額)	(1,220,691,167)
(売買損益相当額)	(253,795,011)
分配準備積立金	836,417,943

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	14,814,135円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	103,949,451
(c) 収益調整金	1,474,486,178
(d) 分配準備積立金	739,752,104
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,333,001,868
(f) 分配金	22,097,747
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,310,904,121
(h) 受益権総口数	2,209,774,760□

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：14,445,833円（未監査）

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	100円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

運用報告書 第28期 (決算日 2026年 5月28日)

(作成対象期間 2025年11月29日～2026年 5月28日)

ダイワ米国厳選株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

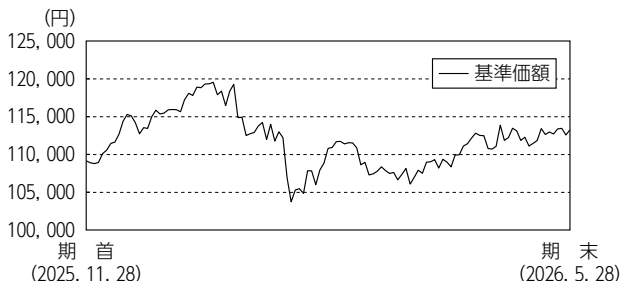
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、ＤＲ（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株式組入 比 率	株式先物 比 率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期 首) 2025年11月28日	109,142	—	119,874	—	97.1	—
12月末	115,912	6.2	121,552	1.4	95.2	—
2026年 1月末	112,909	3.5	120,464	0.5	96.2	—
2月末	110,792	1.5	121,184	1.1	96.1	—
3月末	106,953	△ 2.0	114,274	△ 4.7	96.0	—
4月末	113,866	4.3	129,016	7.6	96.6	—
(期 末) 2026年 5月28日	113,248	3.8	135,450	13.0	96.3	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：109,142円 期末：113,248円 騰落率：3.8%

【基準価額の主な変動要因】

米国株式市況が上昇したことに加え、為替相場で米ドルが対円で上昇 (円安) したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、F R B (米国連邦準備制度理事会) による利下げの決定や経済指標の改善などが好感された一方で、「A I (人工知能) 脅威論」による情報サービス・ソフトウェア関連株の下落やプライベート・クレジット市場への懸念などから、2026年2月にかけておおむね横ばいで推移しました。3月には米国とイスラエルがイランへの軍事作戦を開始し、イランによって

ホルムズ海峡が事実上封鎖されたことなどから先行きへの懸念が強まり大幅に下落しましたが、4月以降は米国とイランの和平交渉進展への期待やA I・半導体関連株の集中物色を受けて急反発し、当作成期末にかけて上昇しました。

○為替相場

米ドルが為替相場は対円で上昇 (円安) しました。

米ドルが為替相場は、当作成期首より方向感に欠ける動きとなりました。2026年1月に入ると、日本の衆議院解散をめぐる思惑から円安となる場面もありましたが、同月下旬には、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受けて、円高が進行しました。2月中旬から3月中旬にかけては、発表された米経済指標を受けて、米国における年内の利下げ実施見通しが後退したことや、中東情勢の緊迫化で投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、米ドル高が進行しました。4月末にかけてはおおむね横ばいで推移しました。5月上旬には、日本が円買いの為替介入を実施したことで、円高が進行しました。5月中旬にはホルムズ海峡の封鎖長期化への懸念による原油高が円安米ドル高要因となったほか、当作成期末にかけては、米国とイランの戦闘終結期待による市場心理の改善などを背景に、円安となりました。

◆当作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	14円 (14)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用)	6 (6)
合 計	20

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄
株 式

当 期				期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
SALESFORCE INC (アメリカ)	千株 8. 67	千円 268, 965	円 31, 022	WARNER BROS. DISCOVERY INC SERIES (アメリカ)	千株 109. 965	千円 462, 426	円 4, 205
GARTNER INC (アメリカ)	7. 215	174, 929	24, 245	DEERE (アメリカ)	2. 895	273, 816	94, 582
PAYCOM SOFTWARE INC (アメリカ)	7. 205	166, 847	23, 157	PHILLIPS 66 (アメリカ)	8. 695	219, 765	25, 274
KEURIG DR PEPPER INC (アメリカ)	34. 915	153, 258	4, 389	CONOCOPHILLIPS (アメリカ)	7. 955	143, 435	18, 030
MARSH INC (アメリカ)	4. 735	130, 255	27, 509	ALPHABET INC CLASS A (アメリカ)	2. 6	138, 982	53, 454
ICON PLC (アイルランド)	7. 52	120, 394	16, 009	KEURIG DR PEPPER INC (アメリカ)	26. 77	117, 541	4, 390
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC (アメリカ)	4. 575	117, 784	25, 745	AMERICAN INTERNATIONAL GROUP INC (アメリカ)	9. 215	108, 600	11, 785
IQVIA HOLDINGS INC (アメリカ)	2. 53	75, 310	29, 767	WILLIS TOWERS WATSON PLC (アイルランド)	1. 795	85, 606	47, 691
CHARLES SCHWAB CORP (アメリカ)	4. 75	72, 081	15, 175	FIRST CITIZENS BANCSHARES INC CLAS (アメリカ)	0. 25	79, 577	318, 309
WILLIS TOWERS WATSON PLC (アイルランド)	1. 435	71, 278	49, 671	SALESFORCE INC (アメリカ)	2. 605	75, 590	29, 017

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況
株 式

(2025年11月29日から2026年 5 月28日まで)					
		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	アメリカ	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
		1, 110. 6 (	11, 658 —)	2, 111. 2	15, 718

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) () 内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国株式

銘柄	期首	当期末		業種等
	株数	株数	評価額	
			外貨建金額 邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円
(アメリカ)				
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	127.75	144.65	2,165	345,752
BRUNSWICK CORP	138.45	94.5	789	126,074
CHARLES RIVER LABORATORIES INTERNA	51.25	63.9	1,051	167,817
CENTENE CORP	299.35	301.85	1,775	283,473
GARTNER INC	—	63.9	1,022	163,205
DEERE	26.65	—	—	—
TARGA RESOURCES CORP	59.6	53.95	1,422	227,099
MOLINA HEALTHCARE INC	43.25	38.9	691	110,471
LITHIA MOTORS INC CLASS A	39.2	35.25	1,031	164,692
FIRST CITIZENS BANCSHARES INC CLAS	13.4	12.05	2,401	383,449
ALPHABET INC CLASS A	61.35	40.6	1,578	252,047
PHILLIPS 66	123.6	47.2	824	131,600
MARSH INC	—	44.35	712	113,712
CONOCOPHILLIPS	137.55	70	805	128,671
PAYCOM SOFTWARE INC	75.3	125	1,653	263,997
AIRBNB INC CLASS A	142.1	133.5	1,763	281,565
CBRE GROUP INC CLASS A	85.65	66.65	867	138,497
SALESFORCE INC	92.05	152.7	2,710	432,770
ICON PLC	52.4	110.55	1,309	209,069
IQVIA HOLDINGS INC	113.35	116.8	1,934	308,852
WILLIS TOWERS WATSON PLC	55.3	51.7	1,313	209,695
WARNER BROS. DISCOVERY INC SERIES	1,043.4	—	—	—
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP INC	84.9	—	—	—
EQUIFAX INC	64.55	64.2	1,050	167,785
KEURIG DR PEPPER INC	865.55	947	2,850	455,106
CHARLES SCHWAB CORP	167.1	181	1,549	247,399
CAPITAL ONE FINANCIAL CORP	73.25	75.5	1,425	227,585
ファン ド	株数、金額	4,036.3	3,035.7	34,701
合 計	銘柄数<比率>	25銘柄	24銘柄	<96.3%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年5月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	5,540,392	95.9
コール・ローン等、その他	239,811	4.1
投資信託財産総額	5,780,203	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝159.66円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(5,736,873千円)の投資信託財産総額(5,780,203千円)に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年5月28日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	5,780,203,812円
コール・ローン等	235,383,122
株式(評価額)	5,540,392,458
未収配当金	4,428,232
(B)負債	25,700,000
未払解約金	25,700,000
(C)純資産総額(A－B)	5,754,503,812
元本	508,134,047
次期繰越損益金	5,246,369,765
(D)受益権総口数	508,134,047口
1万口当り基準価額(C／D)	113,248円

* 期首における元本額は566,387,012円、当作成期間中における追加設定元本額は62,296,683円、同解約元本額は120,549,648円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイー Aコース (為替ヘッジあり)
47,968,064円
ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイー Bコース (為替ヘッジなし)
398,785,712円
ダイワ米国厳選バリュース株ファンド (ダイワSMA専用)
61,380,271円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は113,248円です。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■損益の状況

当期 自2025年11月29日 至2026年 5月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	29,808,733円
受取配当金	29,086,014
受取利息	722,719
(B) 有価証券売買損益	199,876,153
売買益	787,683,982
売買損	△ 587,807,829
(C) その他費用	△ 322,319
(D) 当期損益金 (A + B + C)	229,362,567
(E) 前期繰越損益金	5,615,264,233
(F) 解約差損益金	△ 1,237,260,352
(G) 追加信託差損益金	639,003,317
(H) 合計 (D + E + F + G)	5,246,369,765
次期繰越損益金 (H)	5,246,369,765

- (注 1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

S & P 500 指数（「当インデックス」）は S & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S & P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。